こんな活動です

地域の子どもたちの幸せのために！
～ともえサポーターズの活動を軸としたコミュニティ・スクールの構築～

静岡県袋井市	●活動名	●関係する学校名
	袋井市立袋井北小学校ともえサポーターズ	袋井市立袋井北小学校

協働活動開始年度	平成　21　年度	関係学校数	1　校	のべ学級数	43　学級	のべ児童・生徒数	1011　人
活動区分	学校支援活動	―		―			
	地域未来塾	―		外部人材を活用した教育支援活動			
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数	配置人数				
	―		1人				
学校運営協議会	指定・設置日	ボランティアの数	延べ登録人数	企業・ＮＰＯ等との連携	無		
	平成29年4月1日設置		153人				
参考URL	http://fukuroikita-e.bansyu.jp/						

●連絡先	袋井市教育委員会学校教育課	☎ 0538-44-3172

●体制図

●活動の概要・経緯

〇袋井北小学校の学校支援地域本部「ともえサポーターズ」は地域の教育力を生かし、社会総掛かりでの教育の実現を目指し、平成21年度に発足した。「できるときに　できることを」を合い言葉に、学校の要請に応える形で活動を開始した。現在は学校の要請に応えるばかりでなく、学校との連携を密にし、地域のニーズが何かを考え、双方向での支援体制へ移行しつつある。この「ともえサポーターズ」の活動を軸としたコミュニティ・スクールを構築し、これからの学校と地域のあり方を先導する取組をしている。
〇外国籍を有する地域住民が多く、学校教育や地域との連携は大きな課題となっている。そこで「ともえサポーターズ」が、土曜日や夏休みに袋井北コミュニティセンターの一室を利用し、外国籍の児童に対する学習教室や、その保護者に日本語を教える取組を行っている。この取組から地域との繋がりができる相乗効果が生まれている。

● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

「できるときに　できることを」を合い言葉に
①学校の教育活動を地域で支える
②先生方が子供と接する時間を確保する
③地域の教育力を生かし、教育効果を高める
の3つを活動の趣旨として共通理解し、学校と地域が双方向の取組となることを意識している。

【実施に当たっての工夫】

地域支援コーディネーターを中心に、学校と地域の連携を図り、活動の趣旨に合う活動に取り組んでいる。平成30年度からは拠点をコミュニティセンターとし、年4回の総会を学校関係者を交えて行うことで、活動の見直しや新しい活動の提案を行い、形骸化した活動とならないように工夫している。コミュニティセンターが拠点となることで、学校、保護者、地域（ともえサポーターズ）が一体となった「地域で支える教育活動」が展開されている。また、ここ数年は学校の要請に応える形での取組が中心であったため、学校の要請と合わせて、地域の要請は何か、地域の課題は何かについても意識した活動となるように心がけている。そのことで直接的な学校支援となるだけでなく、間接的な学校支援が図られるようになってきた。

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

学校行事が円滑に運営されたり、学校の教員が教えることに専念できたりするようになり、より高い教育効果が得られるようになってきた。また、ともえサポーターズ自身も学校の様子を知り、地域の学校のために取り組んでいるというやりがいを感じることができている。
子供たちのアンケート調査からも「学校が楽しい」「授業が分かる」などの項目において数値が上昇し、子供の心の安定が図られるようになった。
課題としては、ともえサポーターズのやりがいや責任を負うことへの自負を持った組織であり続けることの難しさがある。時間が経ち、人がかわることで当初の目的が何かを絶えず問い直し続けなくてはならない。

● その他

学校の授業への学習支援、学習補助に取り組んでいる。
土曜日や夏季休業を活用した「ともえ塾（外国籍児童に対する学習教室」「TOMOE塾（外国籍の保護者への日本語教室）」を実施している。

高学年の家庭科の授業では、裁縫やミシンの使い方などの学習補助を行っている。

外国籍の保護者に簡単な日本語を教えるとともに、日本の文化に触れる機会も設けている。